



青少年交換プログラム 2010-2011年度 派遣学生募集要項

2009～2010
GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTER 2009.VOL.3

9

地区青少年交換委員会
委員長

岡田 俊作

(大阪本町RC)

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子弟を交換して、我が子として育ててみようという試みに端を発しています。子供達が、異なる国で異なる文化や人々と生活することを通じて国際理解を深め合う良い機会となっていました。この青少年交換を通じて、国際ロータリーの究極の目的である世界の平和と繁栄を達成する為の一つの道として、1972年に国際ロータリーの正式プログラムになりました。

このプログラムは、短期間(2-3週間)の海外研修や海外生活体験というような表面的な交流とは異なり、一年間を通して派遣先の3-4軒の家庭にホームステイしながら、ホストファミリーの子供として生活し、現地の高校に通い数多くの友達や人々とのふれあいを経験するものです。

高校生という若い時期に、旺盛な吸収力を以て異文化に接することは、互いの違いを認め尊重し合う国際理解と平和を推進する効率的な方法となっています。このプログラムは、参加する青少年のみならず、ホストクラブのロータリアン、受入先の学校や地域の人々との交流を通じ、受入先にも国際理解を深めるといふ大きな恩恵をもたらすこととなります。

異なる言語の国や地域に派遣された当初は、言葉も解らず、家族や友達から遠く離れて生活する訳ですから辛く寂しい思いをしますが、言葉は2-3か月でかなり理解出来るようになってきます。そして一年後には、多くの友人を持つ国際感覚を身につけた頼もしい若人として成長してくれると思います。

青少年交換プログラムは、ロータリアンの子弟が参加出来る唯一のプログラムですので、ロータリアン自身のお子様、お孫さん、親戚の子などで派遣時に高校生であれば候補生となります。また、地域の高校に生徒の推薦を依頼することも出来ます。このプログラムにご参加戴き、次代を担う青少年の育成に御協力願います。

1. 主な交換相手国

- | | | |
|---------|---------|-------|
| ①アメリカ | ②カナダ | ③フランス |
| ④ドイツ | ⑤ベルギー | ⑥スイス |
| ⑦フィンランド | ⑧スウェーデン | ⑨チェコ |
| ⑩ハンガリー | ⑪ポーランド | ⑫インド |
- その他多数

2. 交換期間

- ・2010年8月に出発し、期間は約1年間。

・採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定します。

3. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- 1) 出発時、16~18歳の高校生であること。
- 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で1/3以内の者。(在学高校により差があるので、相談に応じます)
- 3) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。(単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい)
- 4) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限

2009年9月30日(水) 必着

7. 応募方法

応募者は、スポンサークラブを通じて地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込みください。なお、申込書はガバナー事務所までご請求ください。

8. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を送り出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

《お問い合わせ》

*国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所
担当: 今井
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6F
Tel: 06-6264-2660 Fax: 06-6264-2661

以上